

令和6年5月16日

報道機関各位

吉川市政策室主幹

石碑は私たちに語りかけている  
自然災害伝承碑「きょうどう ひ協同碑」を整備しました

市では、これまでの水害の歴史を伝えるとともに、減災意識の高揚を図るため、令和4年9月に市内3ヶ所の石碑を国土地理院「自然災害伝承碑」として登録・公開しております。

この度、川藤地内にある「協同碑」については、災害のあった現地に立って、当時の状況を想像しながら見学できるように、石碑の解説板の設置と石碑脇の歩道の整備を行いました。また、石碑の内容をさらに理解していただくため、碑文の内容を掲載した参考資料『川とともに生きる～吉川市の水利用と水害の歴史～』を作成しました。

この「協同碑」は明治27年3月に建てられた石碑で、碑文には明治23年8月の水害に際し、旭村（現吉川市旭地区）と松伏領村（現松伏町の一部）の住民が「協同」で防水にあたり水害を防いだ美事を永く伝えたいと記されています。

現地見学を通して、あらためて自然災害の猛威、そして水害への備えについて考えるとともに、先人が石碑に刻み残した教訓“協同”について考えていただければ幸いです。

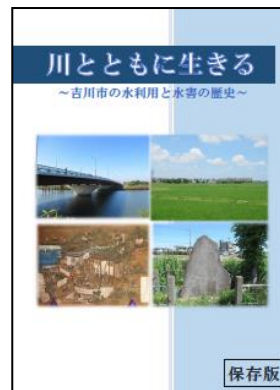
### 概要

名称 自然災害伝承碑「協同碑」

場所 川藤地内 県道川藤野田線沿い、「川藤」交差点から歩道にて西へ160m



自然災害伝承碑「協同碑」



参考資料『川とともに生きる』表紙

### この件に関するお問合せ先

- お問合せ：教育部 生涯学習課 ☎048・984・3563

記事提供：政策室 広聴広報担当 ☎048-982-5112